

2026年1月13日



たてくろジオパーク だより

第
86
号

発行：立山黒部ジオパーク協会 事務局

〒930-0856 富山市牛島新町5-5 タワー111ビル1階 TEL: 076-431-2089 FAX: 076-482-3204

MAIL: info@tatekuro.jp HP: <https://tatekuro.jp/>

<https://facebook.com/tatekuro>

2026年 本年もよろしくお願ひいたします！



旧年中は、協会の活動にご支援ご協力をいただき、ありがとうございました。
本年も変わらぬご支援をお願ひいたします。

本年は2月に富山市・上市町で「JGN 中部ブロック大会立山黒部大会」が開催されます。

今後とも、会員の皆さんや地域との絆を強めながら活動を進めていきたいと考えております。ジオパーク散歩をはじめとしたツアーや、講演会など、いろいろな活動を行っていきたいと考えておりますので、よろしくお願ひいたします。



富山市科学博物館に立山黒部ジオパークコーナーがオープン

昨年11月下旬、富山市科学博物館の一角に、立山黒部ジオパークコーナーを設置していました。(2階の階段付近)

拠点施設の1つである富山市科学博物館で立山黒部ジオパークを紹介していただくことは、互いの認知度を高めることにとても効果があると考えています。富山市科学博物館にお越しの際には、是非ジオパークコーナーにも足をお運びください。



ジオガイドの更なる資質向上を目指して

立山黒部ジオパークでは、従来の講師招聘の研修に加え、ジオガイド自身が講師となる、新しいスタイルの研修を始める試みを進めています。その第一歩として、12月21日、上市町働く婦人の家で「新しい研修スタイル立ち上げワークショップ」を開催しました。

25名のジオガイドがテーマごとにチームに分かれ、どのような研修を企画するかについて検討してもらいました。どのチームも限られた時間の中で、テーマに沿った研修プランをまとめることができました。その中から実際に実際に行ってほしいチームを投票してもらい、投票数の多かった4チームに次年度の担当をお願いすることになりました。



1月のジオパーク散歩

*参加費 500 円



2026年最初のジオパーク散歩のお知らせです。

立山黒部ジオパーク各地域の地形・地質や自然、文化をジオガイドの解説を聞きながら、ゆっくりと歩いて楽しめませんか？

詳細は協会ホームページ、SNS、各自治体の広報誌でお知らせいたします。参加費 500 円で、どなたでもご参加いただけます。

お申し込みはメール、FAX または電話で、

①参加者氏名（同伴者含む）②住所 ③電話番号をお知らせください。

申込先：立山黒部ジオパーク協会事務局

E-mail info@tatekuro.jp

TEL 076-431-2089 FAX 076-482-3204

※最小催行人数は4人です。

申込締切日までに最少催行人数に達しない場合は中止します。

11/29 なめりかわのジオパーク！体験ツアー

11月29日、滑川市教育委員会 生涯学習・スポーツ課主催で「なめりかわのジオパーク！体験ツアー」が開催されました。前半の富山湾特有の寄り回り波のメカニズムや対策、急流河川早月川に関わる部分を立山黒部ジオパーク協会の森内専門員が担当し、後半の早月川河口や行田公園の植生の解説は、TOGA森の大学校 長谷川校長が担当されました。

今年の参加者は大人だけでしたが、ジオパーククイズの正解者にオリジナル缶バッジをプレゼントして、喜んでいただけたと思います。天候に恵まれ、充実したツアーとなりました。



12/5-7 JGN 全国研修会開催

12月5～7日の3日間、JGN全国研修会が四国西予ジオパークで開催され、全国から40名が参加し、当協会からは、清水専門員が参加しました。

今回のテーマは「防災」で、1日目は、ジオパークならではの被災地支援、人口減少やインバウンドの現状と防災という課題で、東北学院大学の目代邦康准教授、東京大学大学院の小田隆史准教授の指導の下、グループワークが行われました。単純に結論や有効な策を導くことは出来ませんでしたが、様々なアイディアが出されました。

2日目は、平成30年7月の西日本豪雨の被災の実態を知るため、被災者の話を聴いたり、被災した現場を訪ね、地域の特性を知り、災害の記憶の保存と防災対策の現場を肌で感じることができました。

3日目は、いくつかのジオパークの取り組みのプレゼンを受け、3日間の研修を踏まえてまとめを行いました。防災への取り組みは今回の研修だけでなく、今後も形を変えて全国的に続けていくことになりそうです。



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



拠点施設のイベント・企画展のご案内

立山カルデラ砂防博物館

1/31 フィールドウォッチング
「立山の雪を体験しよう」

雪の結晶づくり・積雪観測・スノーシューハイクなど、まるまる1日「雪」を堪能します。お申し込みは、下の2次元コードからどうぞ。

催行日：1/31（土）
ジオパーク協会会員は1000円割引になります。



富山県 [立山博物館]

「布橋灌頂会」パネル展

江戸時代、地獄に墮ちるとされた女性たちを救う法会として、芦嶺寺集落で閻魔堂・布橋・うば堂を舞台に行われ、現在は3年に1度の現代的イベントとして行われている「布橋灌頂会」。これをモチーフに描かれた、坂本欣弘監督の最新作「無明の橋」の公開を記念して、布橋灌頂会を紹介するパネルや資料を展示しています。

3月1日（日）まで
場所：2階常設展示室



冬の富山空港に
立山黒部ジオパークのコーナー
を開設しています

今年も富山きときと空港の国内線エスカレーターを上がって右手に、立山黒部ジオパークのPRコーナーを設けさせていただきました。（2月末まで）航空機、空港をご利用の際は、是非お立ち寄りください。

魚津水族館

出張、足摺海洋館！

高知県の西部にある足摺海洋館から深海生物をお借りして期間限定で初展示します。

富山湾のように陸から深海が近い高知県東部、室戸市の漁師の方にもご協力いただき、人気者「オオグソクムシ」をはじめ、富山湾には生息していない太平洋の深海生物を展示します。

3月8日（日）まで
場所：3階
うおすいファミリウム



魚津市埋没林博物館

蜃気楼研究会 野村 英樹 写真展

富山湾の風景が七変化！
これが魚津の蜃気楼だ！

早朝や夕暮れ時など
いろいろな時間帯で見
られる蜃気楼を紹介し
ます。

4月30日（木）まで
場所：テーマ館



夜の新湊大橋の上位蜃気楼



身近な気候変動の緩和・適応の取り組みを実践しましょう！

気候変動に対して、その緩和や適応の取り組みは、地球温暖化を抑制して持続可能な社会構築のために大切な活動です。この取り組みは、「誰かが」ではなく、「みんなが」日々の生活において、少しづつ実践する必要があります。立山黒部ジオパーク協会は、この活動の推進者でありたいと考えております。下記をご参照ください。



パンフレット
(富山県気候変動適応センター)

地球温暖化と富山の未来

身の回りの気候変動を考えよう！

<https://www.pref.toyama.jp/documents/25871/cca-pamphlet-2021toyama.pdf>





松倉城跡は、魚津市南部を流れる角川右岸の丘陵上にあり、標高約 430m に南北朝時代に築かれた越中最大級の山城で越中三大山城の一つです。山頂の尾根続きたる峰々に、空堀によって切られた主要な 5 つの曲輪が南北 350m にわたって並ぶ巨大な連郭式山城です。三方が急斜面となる天然の要害のため、難攻不落の城として知られていました。背後には松倉金山があることから、その経済力で中世には勢力を誇っていたそうです。

多くの武将がこの城を巡って戦い、戦国末期まで約 260 年にわたり新川地方の要としての役割を果たしていました。上杉謙信に攻められるまで、新川地方を統治していた武将椎名康胤（しいなやすたね）が城主を務めていましたが、魚津城が新川地方の中心となってからは、政治的、軍事的役割は低下しました。

現在、県史跡に指定されており、本丸には数百本の桜が植えられていて、富山さくらの名所 50 選にも指定されています。

松倉城跡は、立山黒部ジオパークの文化サイトに登録されています。



サイトの保護・保全のお願い！

私たちの大切な宝物であるジオ・自然・文化サイトを壊したり汚したりされませんよう保護・保全にご協力をお願いします。また、サイトが破損や汚染しているのを見かけられたら、当協会までお知らせください。

立山黒部ジオパーク協会

TEL 076-431-2089

E-mail info@tatekuro.jp

12/10 パートナーシップ意見交換会

12月10日、環境省中部山岳国立公園事務所主催の、中部山岳国立公園パートナーシップ締結の各企業・団体による意見交換会が、長野会場をメインに、サテライトの富山会場（富山県総合情報センター）とオンラインで結んで開催されました。当協会も含め、各企業・団体がそれぞれの取組について情報交換し、パートナーシップを活かした今後の活動について考える良い機会となりました。



富山会場の様子

2/5~6 JGN 中部ブロック大会開催

今年度の日本ジオパークネットワーク（JGN）中部ブロック大会が、中部地域の 8 ジオパーク（準備地域を含む）が参加して、令和 8 年 2 月 5~6 日の日程で、富山市・上市町で開催されます。（立山黒部ジオパーク協会主催）

今大会のテーマは、「ジオツーリズムのブラッシュアップ」で、ジオガイドのあり方や活動活性化についての活発な意見交換が期待されます。大会の様子は、後日お知らせいたします。



会場となるインテック大山研修センター

〈編集後記〉

昨年 11 月の末に、冬季の降積雪に備えて、上市町にあるジオサイト「稻村のスランプ構造」の解説看板を収納してきました。ここについては、10 月の中頃、県外の方から「スズメバチの巣らしきものがある」とメールをいただき、早速確認に行くと、入口から見て最も左手に確かに巣らしきものが・・・。それから 1 ヶ月半経って看板を収納した際には、巣が地上に落ちて壊れていきました。巣を失った戻り蜂が 1、2 匹飛んでいるのを眺めながら、億年単位の大地の動きに比べ、生きとし生けるものの時の移ろいは何と短いものかと、少し寂しい感覚を覚えました。

立山黒部ジオパークへの
ご意見などは
こちらへ！



立山黒部ジオパーク協会では、富山県東部地域の魅力を世界へ発信するために、民間活力を活かしたジオパーク活動を行っています。私たちの活動を支援してくださる方、手助けをして下さる方をお待ちしています。ジオパークの活動に興味のある方は、立山黒部ジオパーク協会（076-431-2089）までお問い合わせください。

立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK

